



受験期の考え方と 保護者としての受験生への接し方

宮城県古川黎明高等学校

3学年保護者進路説明会
2022.6.13～19

これからの受験期をイメージ

▶ 6～7月

- ・全体が本格的にスタート。課外や模試の日々。
- ・空気が変わる。ここでまず差がでます！！

▶ 7～8月

- ・球技大会，黎明祭（7月）に逃避しない！
- ・三者面談は受験期を乗り越えられるかの試金石
（保護者の理解こそが，子どもの本気を左右する）
- ・受験の天王山，勝負の夏休み！（規則正しい生活）

▶ 9月

- ・夏の疲れに注意！
 - ・勝負の第2期考査（受験勉強か考査の勉強か！？）
-



これからの受験期をイメージ

▶ 10~11月

- ・ 学校推薦型選抜や総合型選抜

→ 受験する生徒もそうでない生徒も揺れる。

- ・ 学習の不安や悩みが襲う。

「時間をかけているのに…」

「私だけが伸びてない…」

「時間が足りない…」

→ ここで口うるさく言わないことが大切です。

× 「成績あがらないねえ」 × 「ほんとに勉強してる？」

→ いちばん辛いのは本人。

理解し、見守ってください。

- ・ この時期こそ現役生が伸びる時期であることを信じる
-

これからの受験期をイメージ

▶ 12月

- ・ 第1志望校・検討校・併願校（私大）の確定。
（親子での冷静な話し合いが重要です）
- ・ 願書は本命以外も含め手元にそろえておく。
- ・ 保護者は子どもの体調管理に万全をつくす！

受験本番

▶ 1月

- ・ 私大の出願締切（多くは大学入学共通テスト前後）
 - ・ **大学入学共通テスト本番**
令和5年1月14日(土)・15日(日)
 - ・ 自己採点結果に基づく国公立大出願先の決定
（三者面談を行います。ご都合をつけておいで下さい）
 - ・ 国公立大への出願（前期・中期・後期を同時に出願）
1月23日（月）～2月1日（水）
 - ・ 県内私大の入試スタート
1月下旬の石巻専修大など
 - ・ 看護専門学校も1次試験は1月に集中（2次は2月）
-

受験本番

▶ 2月

- ・ 県内私大の入試が続く
東北学院大 東北福祉大 など
- ・ 2月中旬 県内私大合否発表
→下旬までに入学手続き（入学金等の納入）
- ・ 2月中旬 首都圏私大の入試
- ・ 国公立大前期2次試験 2月25日（土）～

【大切なこと】

国公立大2次試験の前に **1つは合格を取っておく**

受験本番

▶ 3月

- ・ 3/1～5 公立大学前期試験合否発表
- ・ 3/6～10 国立大学前期試験合否発表
- ・ 3/8～ 公立大学中期2次試験
- ・ 3/12～ 国公立大学後期2次試験
- ・ 3/20～24 国公立大学中後期試験合否発表

★国公立大学の中期・後期まで頑張る場合は
最終的な進路先決定は3/20以降になります。
そこから新生活準備となります。

「現役で」 vs 「浪人してでも」

- ▶ 親と子どもとの安易な駆け引きは禁物
 - ・とにかく**前もって話し合う**ことです。
 - ・現役合格を確実にするなら**5校程度の併願は必須**。

 - ▶ 浪人して伸びるか
 - ・浪人して、全員が伸びるとは限らないのが現実。
 - ・その差は**現役（今）の時の学習姿勢で決まる**。
→最後まで頑張りきれぬ生徒は浪人しても伸びる
-

「国公立だけ？」 「地元だけ？」

▶ 国公立大志望者は前期試験が本命試験

- ・ 共通テストを経験しても**多くの受験生が緊張**…
- ・ 私大受験を練習に使う。
- ・ **いつでも合格を取っておく**ことの意義。

▶ 地元ですべての選択肢があるわけではない

- ・ 「国公立大ならいいが、私大なら県内だけ」
 - ・ 「**県外は絶対ダメ**」
 - 多くの子どもが苦しむ悩み。
 - 保護者の考えもある。
 - だからこそ**しっかり話し合う**。検討する。
-

受験にかかる費用

■ 検定料・受験料の目安 受験料の割引・減免制度を利用すれば、費用の軽減も可能。

大学入学共通テスト(3教科以上受験)	1万8000円*1
大学入学共通テスト(2教科以下受験)	1万2000円*1
国公立大学個別(2次)試験	1万7000円*2
私立大学(医・歯学部を除く一般選抜)	3万~3万5000円
私立大学(医・歯学部一般選抜)	4万~6万円
私立大学(大学入学共通テスト利用入試)	1万~3万円
私立大学(医・歯学部を除く学校推薦型選抜・総合型選抜)	3万~3万5000円

*1 大学入試センター「令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施要項」

*2 文部科学省「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」

それ以外は進研アド2021年度調べ

受験にかかる費用

▶ この他・・・

- ・ 受験会場までの「**交通費**」や「**宿泊費**」なども
- ・ 複数校，複数日程の受験をすることを考えると・・・
受験だけで10万円以上はかかるものとお考えください

【 滑り止め校に支払う「**入学金**」 】

入学しなくても原則「入学金」は戻ってきません。

滑り止め校に支払う「入学金」は1校分に抑えたいと思うので，私大出願時には「合格発表日」と「合格手続日」を確認の上，受験スケジュールを立ててください

受験にかかる費用

例えば・・・

合格発表日

合格手続日

A大学（第1志望）

3月 6日

3月13日

B大学（第2志望）

2月22日

2月27日

C大学（第3志望）

2月10日

2月18日

B大学の合格発表前にC大学の合格手続き（入学金納付）
をしなければならない・・・



B大学も合格の場合，A大学の滑り止めとして，2校分の
入学金を支払うことになります

入学にかかる費用

■ 初年度納付金の目安(2020年度)

	国立大学	私立大学(文系)	私立大学(理系)	私立大学(医・歯学部)
入学金	28万2000円	22万6945円	25万2635円	107万4868円
授業料(年額)	53万5800円	81万716円	113万3074円	287万4203円
施設・設備費(年額)	—	15万392円	18万569円	90万716円
合計	81万7800円	118万8052円	156万6277円	484万9787円

入学金は国立大学も私立大学(文/理)もほぼ同額。

※文部科学省「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」「令和2年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)の調査結果について」を基に作成

進学後にかかる費用

■ 2年次～卒業までにかかる学費 ※入学手続き時に初年度納付金を支払い済み

	国立大学*1	私立大学*2(文系)	私立大学*2(理系)	私立大学*2(医・歯学部)
授業料(年額)	53万5800円	81万716円	113万3074円	287万4203円
施設・設備費*3(年額)	—	15万392円	18万569円	90万716円
年間合計	53万5800円	96万1108円	131万3643円	377万4919円
2年次～卒業		×3年		×5年
合計	160万7400円	288万3324円	394万929円	1887万4595円

卒業までに必要な学費は、学部によって約10倍の差になることも。

*1 文部科学省「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」

*2 文部科学省「令和2年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)の調査結果について」。私立大学等の昼間部の平均額。

*3 私立大学は授業料、施設・設備費のほか、実習費、諸経費なども徴収される場合がある。

※ここでは単純に4倍または6倍としているが、大学・学部によっては学年が上がるにつれて授業料、施設・設備費などが上がる場合もある。

最後に

とにかく**話し合**ってください。

話し合いとは通告でも答えを与えることでもありません。

問いを与えて子どもの考えを引き出し、

ともに考え、結論を出すことです。

それができればどんな結果でも、**子どもの成長につながります**。

ぜひよろしく願いいたします。

